

令和4年度 ぐんま県民カレッジ

「オープンキャンパス」大学等出前講座

「ぐんま県民カレッジ」は、県や市町村、大学、高等学校、専修学校、博物館等施設、カルチャーセンターなどの連携により、様々な生涯学習の場を提供する学習サービス提供システムです。今年度も県内の大学等教育機関の連携・協力による出前講座を通して「ぐんま県民カレッジ」の充実・発展を図るとともに、県民の学習ニーズに応えることをねらいとし開催いたしました。今回は、歴史をテーマに令和4年10月1日（土）、8日（土）、22日（土）に3回の連続講座を太田合同庁舎会議室を会場に行いました。

「人物でたどる 中世渡良瀬川世界の歴史」

＜第1回＞ 10月1日（土）

「源義国と足利家綱」

～渡良瀬川世界に神と仏が舞い降りた～

講師：群馬県立女子大学

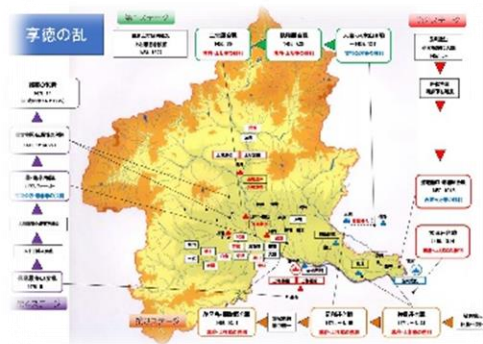
群馬学センター准教授

築瀬 大輔 氏

＜第2回＞ 10月8日（土）

「岩松家純と足利成氏」

～渡良瀬川世界に鎌倉殿がやってきた～



＜第3回＞ 10月22日（土）

「妙印尼と由良国繁・長尾顕長兄弟」

～渡良瀬川世界に天下人が微笑んだ～



築瀬先生には、中世（平安時代後期から戦国時代）の東毛地域（両毛地域）の歴史を、この地域で活躍した人物を主人公にストーリー化して描き、詳細な資料や年表を元に、先生の見解も交えながら熱く語っていただきました。3回の講座では、歴史ファンを中心に延べ154名の受講者が熱心に耳を傾けていました。

◇受講者の声◇ ～アンケートより～

- 中世の地元の歴史が勉強できてよかったです。
- 大変興味深い内容で、おもしろかったです。
- 渡良瀬川世界という認識に改めて気づき、その特性を歴史的に学べて大変よかったです。
- 浅間山の噴火によっていろいろな関係があったことがわかり大変勉強になりました。
- 大変興味深い講義でした。地元の歴史をもう少し深く勉強してみたいと思いました。
- 講師の先生の豊富な知識に裏付けされたリズムある力強い語りに引き込まれ、最後まで興味深く拝聴できました。

主催：群馬県教育委員会 主管：東部教育事務所

